(様式第2号)

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和7年7月1日
事業者名:	株式会社 額額建設

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み	関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	建設廃棄物で木材の端材を集め、端材で小物を作る作家さんへ、またキャンプなどで使う方へ配布。	⑫つくる責任 つかう責任	端材木材の再利用率 令和5年度 再利用20kg → 令和6年度 再利用30Kg 1 50%増	指標	端材木材を欲しい方に告知をし、有効活用してもらうことで、再利用50kg /年を目指すことで、ゴミ処分50kgを減らす。
				目標	2030年までに木材ゴミとしての処分量を、端材利用者してくれそうな方にSNSで告知し、2025年度木材廃棄量の5%削減を目指す。
社会	地元高校生の職場体験を引き受ける。	⑧働きがいも経済成長も	令和7年度 中学生の子供を職場体験1校 工業高校生1校	指標	放課後等デイサービスに通う、子供達に職場体験をしてもらう。2施設
				目標	令和7年度 3施設から受け入れる
経済	&PADを活用し、顧客管理、施工管理、受発注をDX化し、業務効率化を推進する。	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう	&Padを活用しDX化したことで、現場監督の残業が導入前に比べ平均週2時間減った。	指標	紙での受発注を請求書をデジタル化したことで、ペーパーレスでプリントに伴う費用が印刷に伴う紙代、インクで費用が85%削減できた。
				目標	一部の取引先がオンライン対応できていないので、2030年度には受発注、請求書は100%できることを目標とする。

ガバナンス	チェック	
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている(PDCAサイクル等)。 <具体的な内容を記載> 顧客引合管理、受発注、工程管理、工事写真などを& Padを用いてDX化しており、スマホで全員確認ができ情報共有できている。
	☒	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。 www://kouketu.co.jp